

せんげん台駅東口雨水貯留施設 整備についての事業説明会

- 日時：令和8年1月30日(金)19:00～
令和8年1月31日(土)10:00～
- 場所：千間台東一丁目自治会館

越谷市建設部下水道事業課

【1.近年の浸水被害】

近年の大規模降雨です。
直近では、平成27年9月の台風第18号と令和5年6月台風第2号で、市内全域に大きな被害がありました。

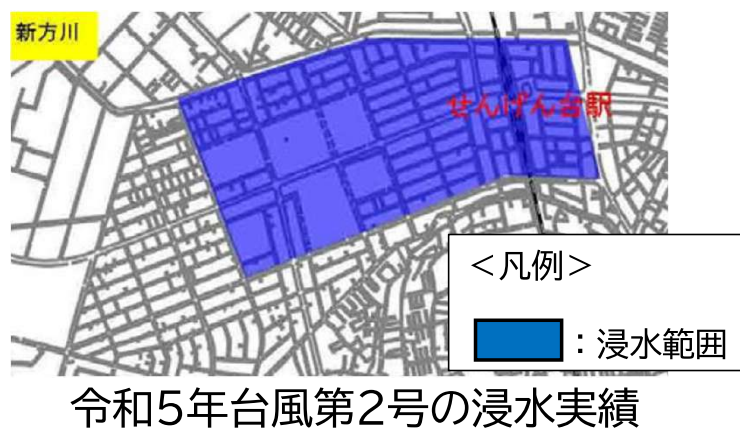
近年の大規模降雨			
名称	期間	総雨量	時間最大雨量
平成25年 台風第26号	10月15日～ 10月16日	217.0 mm	35.0 mm
平成26年 台風第18号	10月 5日～ 10月 6日	231.0 mm	24.5 mm
※平成27年 台風第18号	9月 9日～ 9月11日	402.0 mm	53.0 mm
令和元年 台風第19号	10月11日～ 10月13日	234.5 mm	34.5 mm
令和5年 台風第 2号	6月 2日～ 6月 4日	322.0 mm	53.0 mm

【1.近年の浸水被害】

せんげん台駅周辺では駅中心に浸水被害が発生しました。
特に平成27年の台風第18号では、せんげん台駅の線路が冠水し、
一部区間運転見合わせになり、大きな影響を及ぼしました。



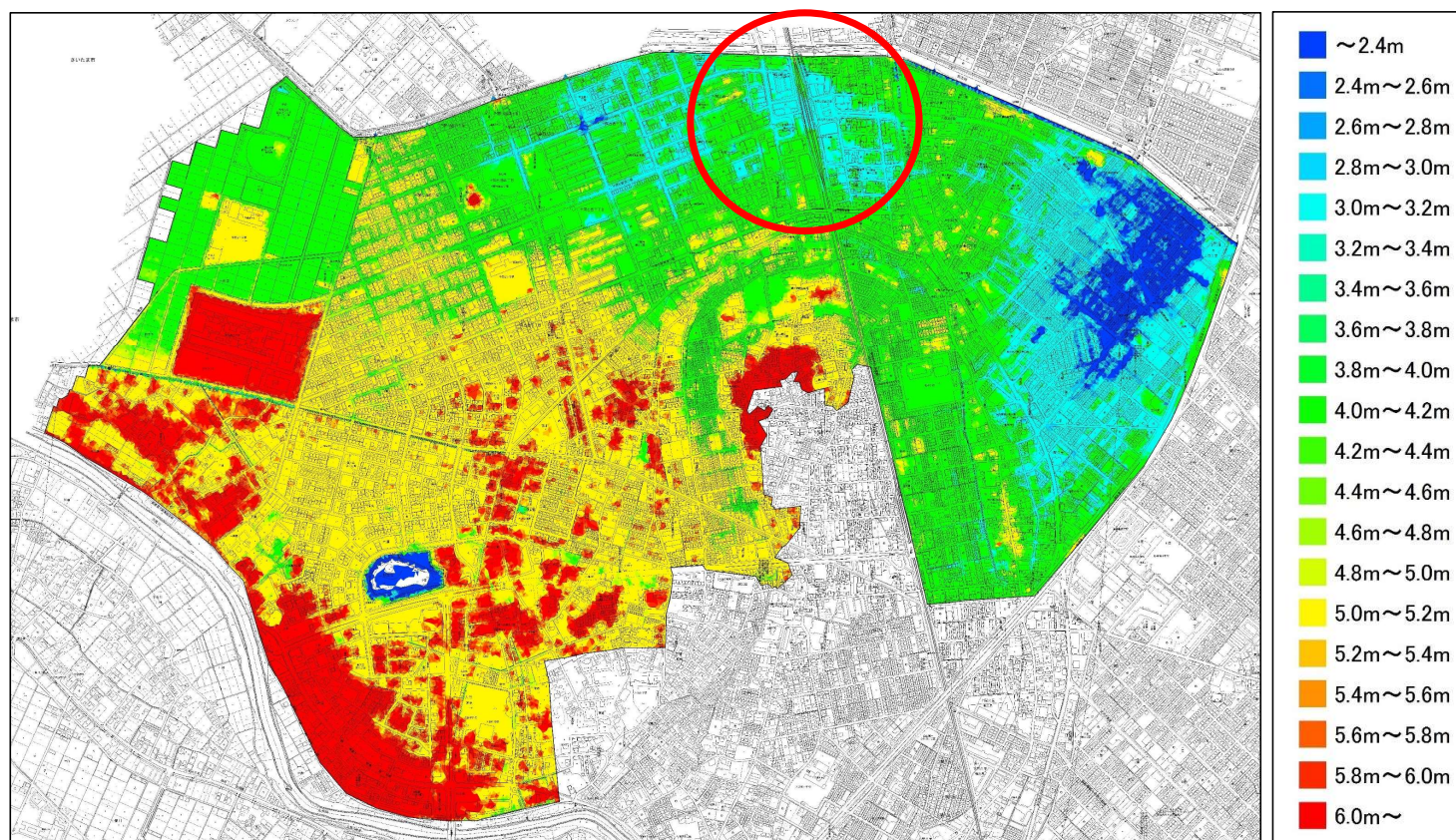
平成27年台風第18号の状況 (Situation of Typhoon No. 18 in Heisei 27)



令和5年台風第2号の状況 (Situation of Typhoon No. 2 in Reiwa 5)

【2. 浸水被害解消に向けた検討】

地盤高図を見ると、せんげん台駅周辺では、駅前は地盤高が低く、浸水しやすい地形となっています。



地盤高図

【2. 浸水被害解消に向けた検討】

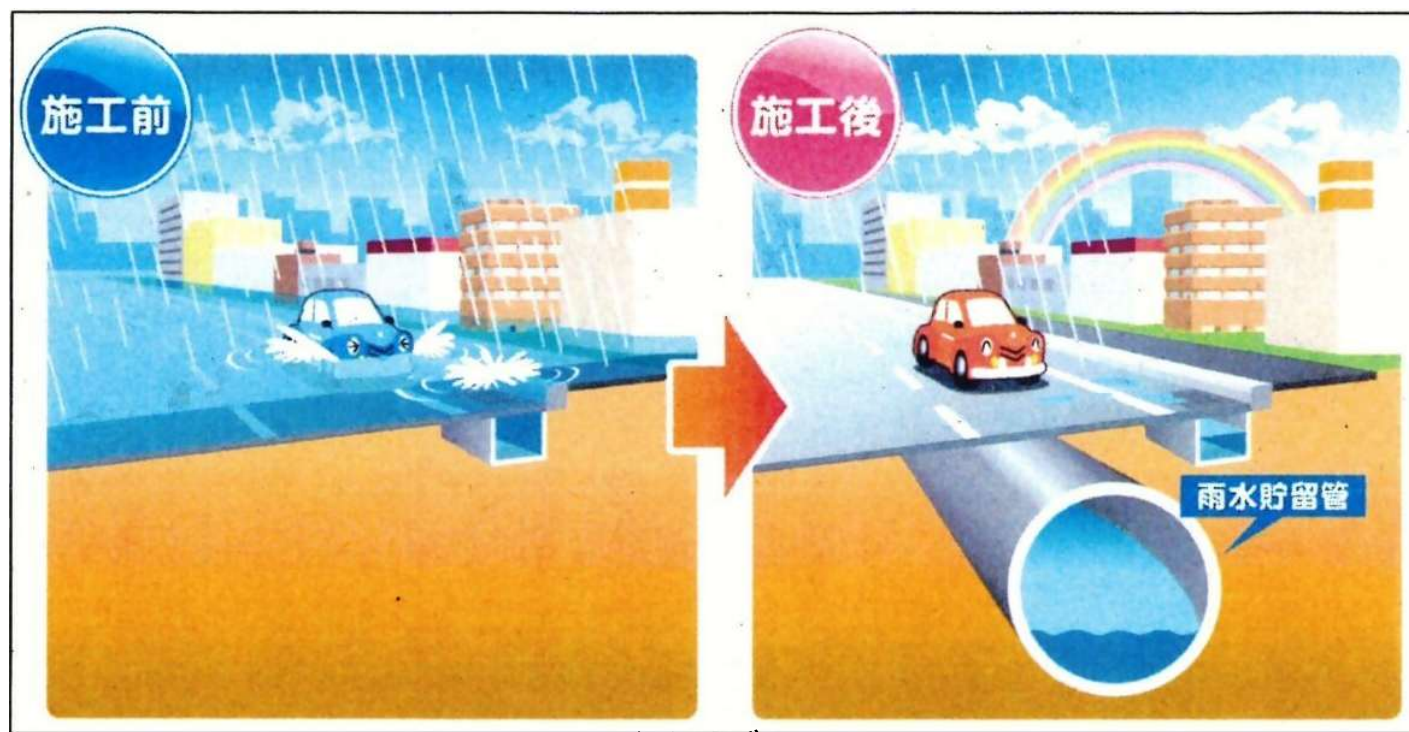
せんげん台駅周辺の内水対策のための、主な施設の状況です。
令和7年3月に「新方川第6-4ポンプゲート」が完成し、仮設ポンプから、
常設ポンプになりました。



【2.浸水被害解消に向けた検討】

新方川へ内水排除の放流には限界があるため、雨水を一時的に貯める、雨水貯留施設の検討を実施しました。

川へ放流できない場合でも、雨水貯留施設に水を貯め、浸水被害の軽減を図ります。

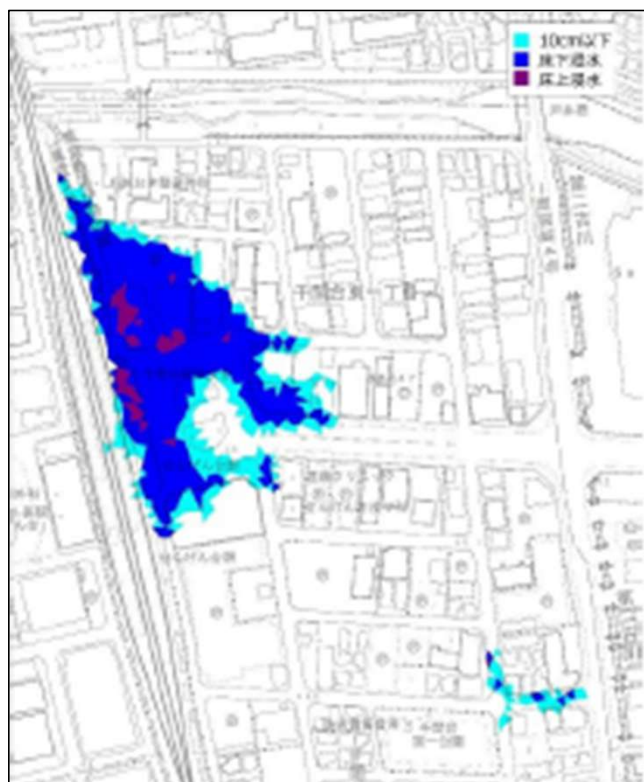


イメージ

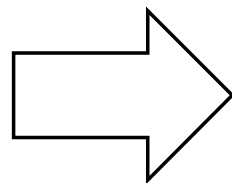
【2.浸水被害解消に向けた検討】

平成27年の台風第18号における、せんげん台駅東口の浸水被害を解消するためのシミュレーションを実施しました。

雨水貯留施設を整備することにより、駅前の浸水被害が解消します。



現況の再現



対策施設整備後

【2.浸水被害解消に向けた検討】

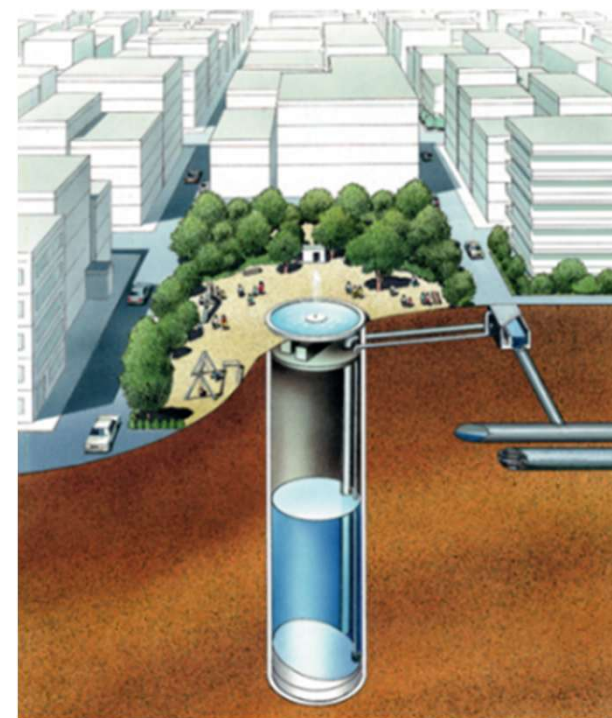
雨水貯留施設の比較検討を実施し、施工時の道路交通や鉄道、地上への影響が小さい点、また、施工実績が多い点から、雨水貯留管を選定しました。



プレキャスト式雨水地下貯留施設



雨水貯留管



縦型円筒形貯留施設 7

【3.せんげん台駅東口貯留施設の概要】

■施設：雨水貯留施設

■形態：円形管

■貯留容量：約4,000m³
(内径5.2m、延長196m)

■工法：シールド工法

■施工期間：令和8年度～令和11年度



【3.せんげん台駅東口貯留施設の概要】

シールド工法とは、シールドマシンにて地中を掘削し、セグメントと呼ばれる外壁を組み立てていきます。東京湾アクアラインのシールドトンネルや、鉄道の東京メトロの駅間部分等で用いられている工法です。



【3.せんげん台駅東口貯留施設の概要】

越谷市と同規模の施設イメージです。

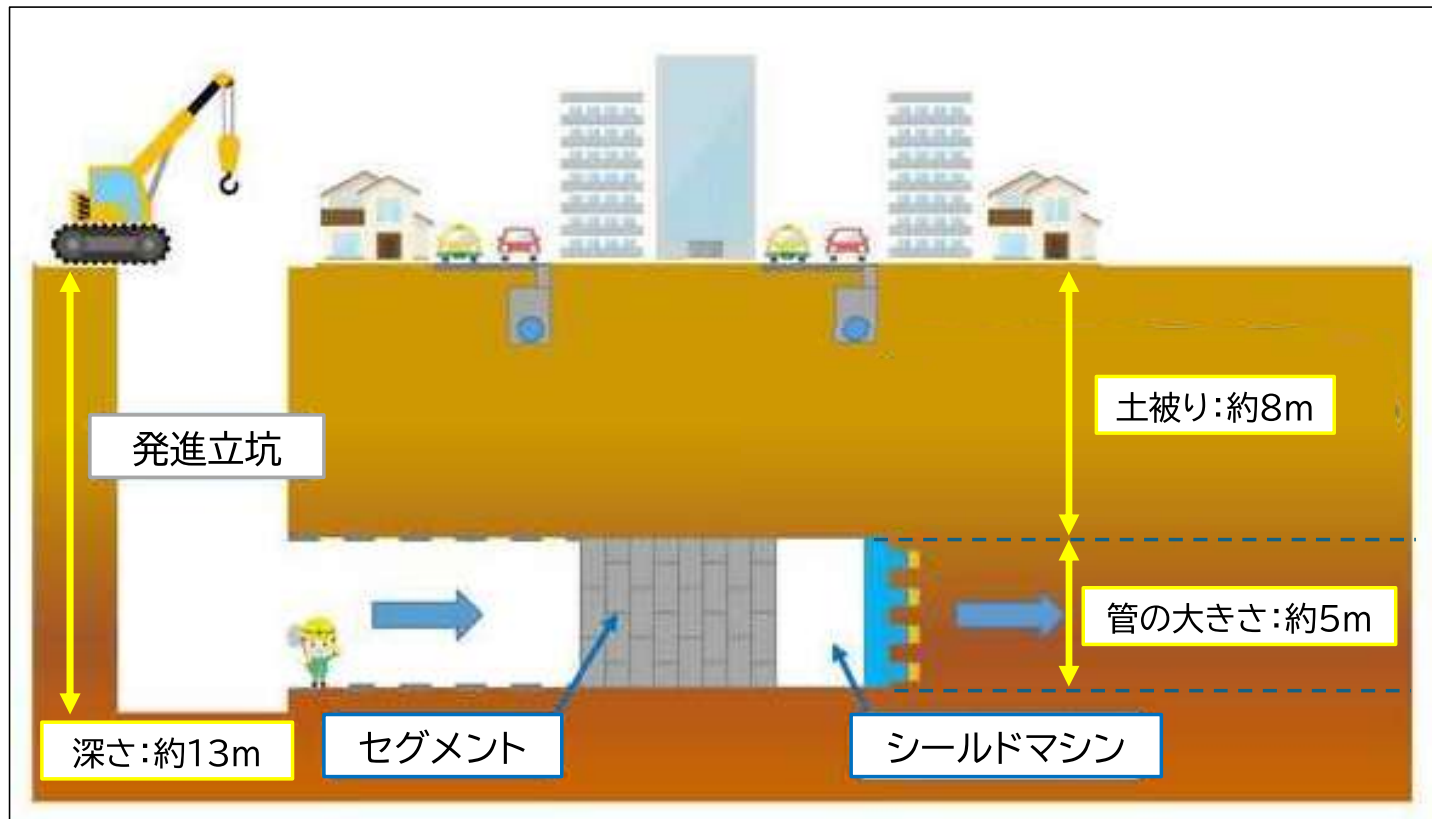
(福岡市の内径5mの雨水貯留管(雨水整備レインボープラン天神))



<https://www.city.fukuoka.lg.jp/doro-gesuido/kensetsu/hp/rainbowplan-thusfar.html>

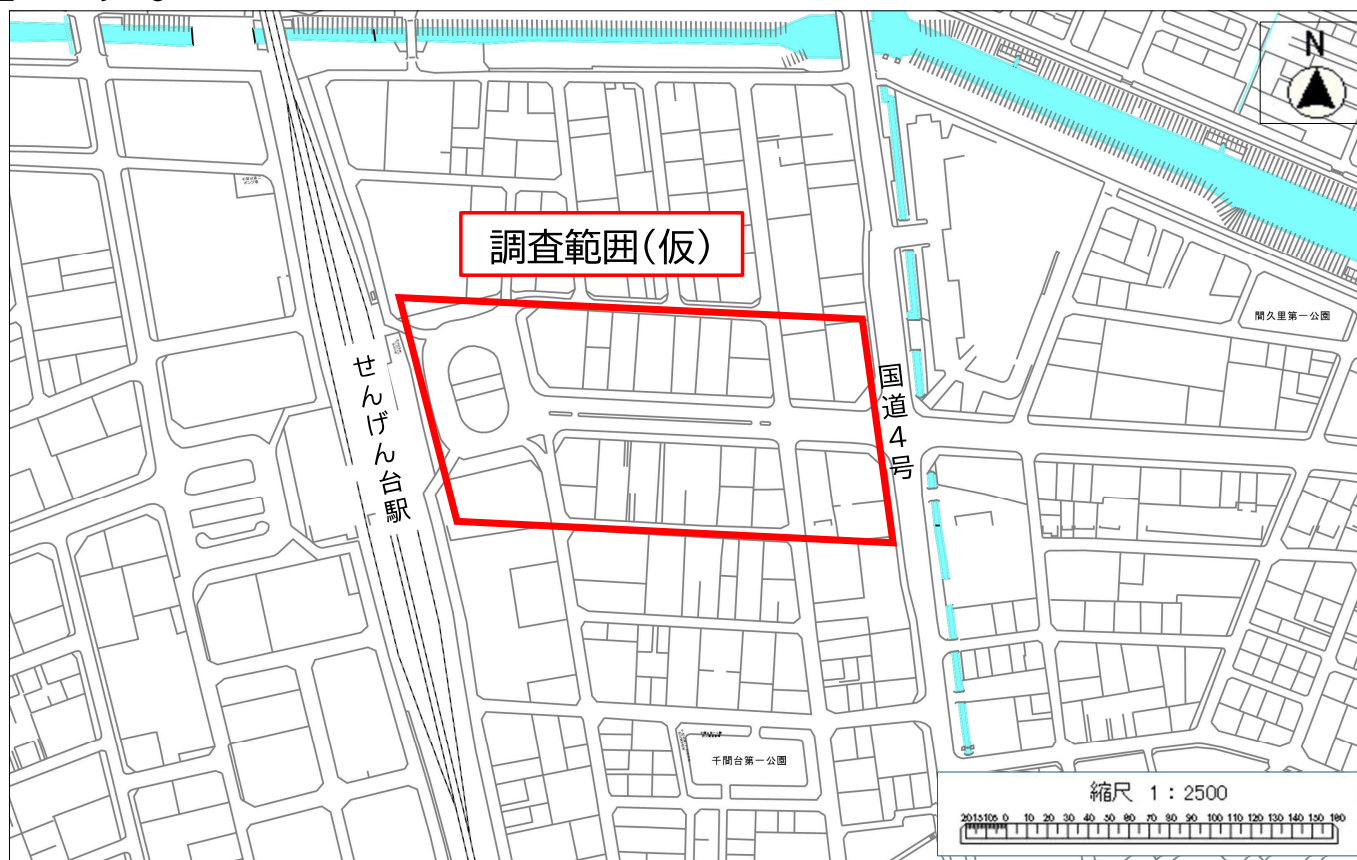
【4.工事に伴う影響】

シールド工法は、地上から約13mの深さをシールドマシンにて掘削します。そのため、地上では騒音・振動はほとんど感じられません。



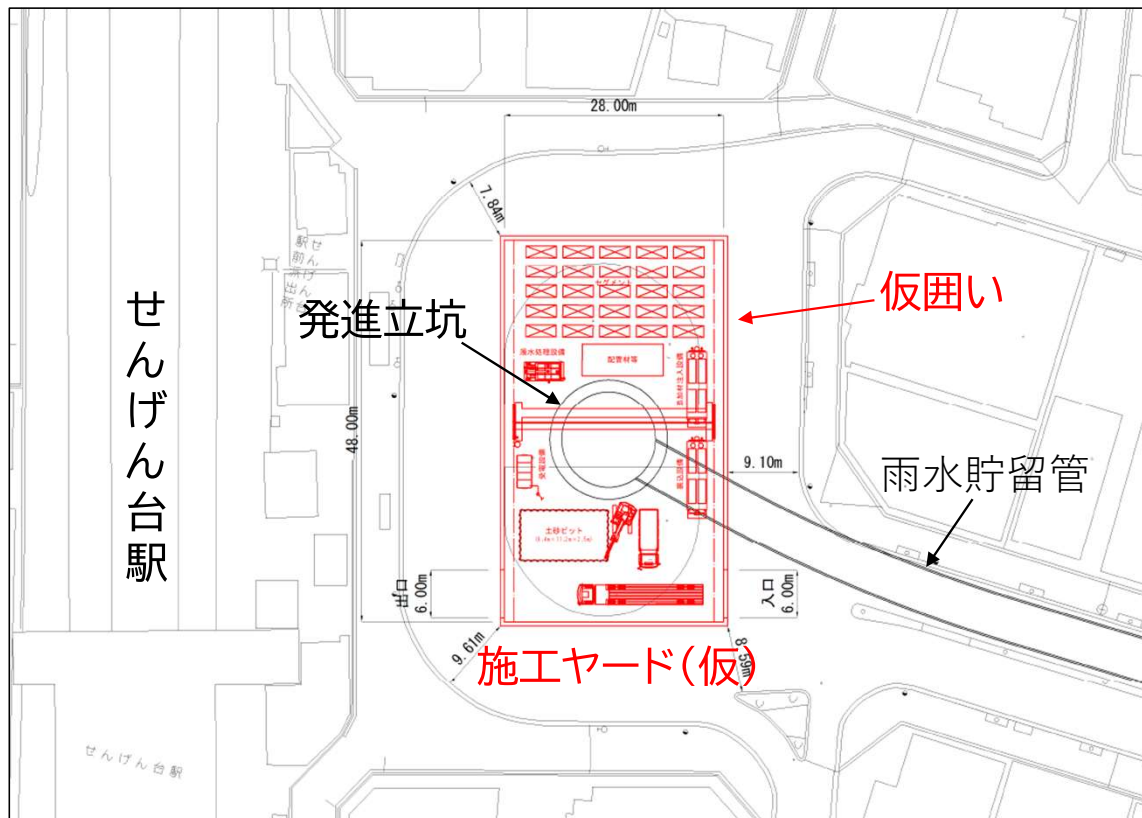
【4.工事に伴う影響】

シールド工法は地上への影響は小さいですが、工事を実施したことにより、近傍の建物に影響を与えていないか、施工前・竣工後に建物・物件影響調査を実施する予定です。



【4.工事に伴う影響】

せんげん台駅東口ロータリーの工事期間中の施工ヤードの計画図です。
駅前広場の歩行者の通り抜けが出来なくなります。
また、ロータリー内の車道の一部規制が発生する見込みです。



【5.事業スケジュール(案)】

現在、工事に向けた実施設計業務を実施中です。

令和8年度以降は、工事の入札・契約手続きを経て、令和8年度～令和11年度で工事を実施予定です。

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
→		→				
・基本設計 シミュレーション	事業計画の変更	実施設計	入札・契約手続き	雨水貯留施設工事		

【5. 事業スケジュール(案)】

工事の準備に3か月、シールドマシン製作に12か月、
 発進立坑の工事に8か月(シールドマシン製作期間中から開始)、
 シールド工事に6か月、特殊人孔築造工事に8か月、
 付帯施設・排水ポンプの整備に3ヶ月を予定しています。

内容		年度			
		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
工事	工 事 の 準 備 ・ シールドマシン製作		→		
	発 進 立 坑 の 工 事		→		
	シールドの工事・ 特殊人孔築造工事			→	
	付 帯 施 設 の 整 備				→
	排 水 ポ ン プ の 整 備				→

ご清聴ありがとうございました。

【問い合わせ先】

越谷市 建設部 下水道事業課

〒343-8501

越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

(本庁舎5階)

TEL:048-963-9318(直通)

FAX:048-963-9198

